



Sun Blade™ X6450 サーバーモジュール ご使用にあたって

Sun Microsystems, Inc.
www.sun.com

部品番号 820-5612-10
2008 年 7 月、改訂 A

本書についてのご意見・ご感想は、<http://www.sun.com/hwdocs/feedback> のフォームを使って弊社までお送りください。

Copyright © 2008 Sun Microsystems, Inc., 4150 Network Circle, Santa Clara, California 95054, U.S.A. All rights reserved.

この配布物には、サードパーティによる情報が含まれることがあります。

Sun, Sun Microsystems, Sun のロゴ、Java, Netra, Solaris, Sun Ray, Sun™ ONE Studio, Sun Blade X6450 Server Module, Sun StorageTek™ RAID Manager ソフトウェア、および Sun の会社ロゴは、Sun Microsystems, Inc. の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Intel® は Intel Corporation またはその関連会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。Intel® Xeon® は Intel Corporation またはその関連会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。Intel Inside® は Intel Corporation またはその関連会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

CPU の予備品または交換品の使用は、米国の輸出法に準拠して輸出された製品の CPU の修理または 1 対 1 での交換に限り許可されています。米国政府の許可を得ることなく、製品のアップグレード目的で CPU を使用することは、固く禁じられています。

本書は、「現状のまま」の形で提供され、法律により免責が認められない場合を除き、商品性、特定目的への適合性、第三者の権利の非侵害に関する暗黙の保証を含む、いかなる明示的および暗示的な保証も伴わないものとします。



リサイクル
してください



Adobe PostScript

目次

はじめに v

1. 概要 1

サポートされているブラウザ 1

CRU と FRU 1

サポートされている OS と必要なパッチの表 2

2. BIOS の注意事項 3

BIOS および ELOM ファームウェアのアップデート時にチェックサム
エラーメッセージが表示される (6629176) 3

PCIe ExpressModule オプション ROM がデフォルトで無効になっている
(6606356) 4

3. ハードウェアの注意事項 5

ドングルケーブルの接続 5

PCIe ExpressModule X7284A-Z のホットプラグ機能が正常に動作しない
(6687123) 5

4. ソフトウェアの注意事項 7

Windows OS をインストールするときは、必ず Tools and Drivers CD に格納
されているドライバを使用する必要がある 7

Tools and Drivers CD から Windows 用ドライバをインストールするときに、
未署名のドライバの警告ダイアログボックスが表示される 8

Solaris 10 08/07 で Oracle の浮動小数点プロセスが突然 SIGFPE 信号を生成して終了する可能性がある 9

Pc-Check テスト 「User Pattern Test (ユーザーパターンテスト)」が終了しない 9

64G バイト以上のメモリーを使用したブート時に RHEL 5.0 のパニックが発生する 9

5. ELOM およびサービスプロセッサの注意事項 11

リモートコンソールでマウスのリダイレクトが最適に動作しない場合がある 11

SLES10 SP1 で Ctrl + Alt + Delete キーが機能しない 12

start /SYS コマンドを実行すると、CLI パスに変更される 12

シャーシのファンの問題が警告として SEL に記録されない 12

ELOM Web GUI からリモートコンソールにアクセスできない 13

サーバーモジュールの BMC IP アドレスを BIOS から設定する方法 13

CMM が Sun Blade X6450 の消費電力を正確に報告しない 14

はじめに

本書では、Sun Blade™ X6450 サーバーモジュールのハードウェア、ソフトウェア、およびドキュメントの注意事項を説明します。

本書には、システムについての最新情報、および Sun Blade X6450 サーバーモジュールのインストール、設定、および運用時に発生する可能性のある問題への対処方法が記載されています。この情報は、基本システムコンポーネントとそのソフトウェアのインストールと設定についての経験を持つシステム管理者を対象としています。

ここでは、前提条件、ヒント、トラブルシューティングのヒント、変更リクエストなど、ユーザーが知っておく必要のある情報が記載されています。変更リクエストには追跡番号があります (括弧内に表示)。

製品のアップデートとドライバ

ダウンロードが可能な Sun Blade X6450 サーバーモジュール製品のアップデートについては、次の Web サイトを参照してください。

<http://www.sun.com/servers/blades/downloads.jsp>

関連ドキュメント

Sun Blade X6450 サーバーモジュールのドキュメントセットの説明については、システムに付属している『ドキュメントの場所』シートを参照するか、製品のドキュメントサイトをご覧ください。次の URL を参照し、ご使用の製品のページに移動してください。

<http://docs.sun.com>

これらのドキュメントの一部については、上記に記載された Web サイトでフランス語、簡体字中国語、繁体字中国語、韓国語、日本語の翻訳版が入手可能です。英語版は頻繁に改訂されており、翻訳版よりも最新の情報が記載されています。

Sun ハードウェアのすべてのドキュメントについては、次の URL を参照してください。

<http://docs.sun.com>

Solaris および他のソフトウェアのマニュアルについては、次の Web サイトを参照してください。

<http://docs.sun.com>

表記上の規則

字体	意味	例
AaBbCc123	コマンド名、ファイル名、ディレクトリ名、および画面上のコンピュータ出力を示します。	<code>.login</code> ファイルを編集します。 <code>ls -a</code> を使用してすべてのファイルを表示します。 <code>% You have mail.</code>
AaBbCc123	ユーザーが入力する文字を、画面上のコンピュータ出力とは区別して示します。	<code>% su</code> Password:
AaBbCc123	書名、新しい用語、強調する語句、および変数を示します。変数の場合には、実際に使用する特定の名前または値で置き換えます。	『 <i>User's Guide (ユーザーズガイド)</i> 』の第 6 章を参照してください。 これらはクラスオプションと呼ばれます。これを行うには、スーパーユーザーである必要があります。 ファイルを削除するには、 <code>rm <ファイル名></code> と入力します。

サードパーティーの Web サイト

Sun 社は、本書で挙げているサードパーティーの Web サイトの利用について責任を負いません。また、当該サイトまたはリソースから入手可能なコンテンツや広告、製品またはその他の素材を推奨したり、責任あるいは法的義務を負うものではありません。さらに、他社の Web サイトやリソースに掲載されているコンテンツ、製品、サービスなどの使用や依存により生じた実際の、または疑わしい損害や損失についても責任を負いません。

コメントをお寄せください

Sun 社は、ドキュメントの改善を常に心がけており、皆様のコメントや提案を歓迎いたします。フィードバックは次のサイトから送信してください。

<http://sun.com/hwdocs/feedback>

フィードバックには、本書のタイトルと部品番号を記載してください。

Sun Blade X6450 サーバーモジュールご使用にあたって 820-5612-10

概要

この章では、サーバーで使用可能なソフトウェアおよびその他の機能の概要を説明します。説明する項目は、次のとおりです。

- 「サポートされているブラウザ」(1 ページ)
- 「CRU と FRU」(1 ページ)

サポートされているブラウザ

Embedded Lights Out Manager (ELOM) の Web GUI は、Linux、Solaris、および Windows プラットフォーム上の Mozilla Firefox および Internet Explorer でサポートされます。

CRU と FRU

次の表に CRU と FRU を示します。新しい CRU と FRU は斜体で示されています。

表 1-1 CRU と FRU の一覧

部品	CRU または FRU
FRU、ブレード、CPU/メモリーなし (マザーボード)	FRU
CPU デュアルコアチップ、2.93 GHz、1066 MHz、80 W (Xeon E7220)	FRU
CPU クワッドコアチップ、1.86 GHz、1066 MHz、50 W (Xeon L7345)	FRU
CPU クワッドコアチップ、2.13 GHz、1066 MHz、80 W (Xeon E7320)	FRU
CPU クワッドコアチップ、2.40 GHz、1066 MHz、80 W (Xeon E7340)	FRU

表 1-1 CRU と FRU の一覧(続き)

部品	CRU または FRU
2 x 2 GB、DIMM キット	CRU
2 x 4 GB、DIMM キット	CRU
16 GB コンパクトフラッシュ	CRU
コインバッテリー	CRU

サポートされている OS と必要なパッチの表

表 1-2 OS に必要なパッチ

サポートされている OS	必要なパッチ
Solaris 10 U4 (64 ビット版)	125370-06 および 127112-10
Windows 2003 EE R2 SP2 (32 ビット版)	
Windows 2003 EE R2 SP2 (64 ビット版)	
SLES 9 SP4 (64 ビット版)	
SLES 10 SP1 (64 ビット版)	
RHEL AS 4.6 (32 ビット版)	
RHEL AS 4.6 (64 ビット版)	
RHEL AS 5.0 (64 ビット版)	RHSA-2007:0099
VMware ESX 3.0.2 U1	ESX-1003524
VMware ESX 3.5	ESX350-200802412-BG

BIOS の注意事項

この章では、Sun Blade X6450 サーバーモジュールに関連する BIOS の注意事項について説明します。

BIOS および ELOM ファームウェアのアップデート時にチェックサムエラーメッセージが表示される (6629176)

BIOS および ELOM のファームウェアのアップデート時に、次のメッセージが画面に表示されることがあります。

```
Error (0005) : CMOS Checksum Bad
Press F2 to run SETUP
Press F1 to load default values and continue
```

注 - このチェックサムエラーは問題ではありません。このメッセージは単に、新しい BIOS のチェックサムが元のチェックサムと異なることを示しています。

RKVM 画面にチェックサムメッセージが表示されない場合は、アップデートが終了し、システムがブートします。

RKVM 画面にチェックサムメッセージが表示された場合

- デフォルト (最適) 値を読み込んで操作を続行するには、何もしません。BIOS の設定がデフォルトにリセットされ、5 秒後にシステムがブートします。

または

- BIOS の設定を変更するには、次の手順に従います。

1. F2 キーを押します。
2. BIOS のメインメニューが表示されたら、F9 キーを押します。

- F9 キーを押すと、デフォルト値が読み込まれます。設定を変更する前に、この操作を行ってください。
3. 必要に応じて設定を変更します。
 4. 設定を保存して終了します。

PCIe ExpressModule オプション ROM がデフォルトで無効になっている (6606356)

PCIe ExpressModule からブートするには、BIOS で PCIe ExpressModule オプション ROM を有効にします。次の手順に従います。

1. BIOS の設定を変更するには、システム起動時に F2 キーを押します。
BIOS のメインメニューが表示されます。
2. 「Boot (ブート)」->「Boot Settings Configuration (ブート設定の構成)」に移動します。
3. 「Enable PEM 0/1 FUN* Option ROM (PEM 0/1 FUN* オプション ROM を有効にする)」を選択します。

ハードウェアの注意事項

この章では、Sun Blade X6450 サーバーモジュールに関連するハードウェアの注意事項について説明します。

dongleケーブルの接続

サーバーモジュールに dongleケーブルを接続している場合は、必ずそのケーブルを取り外してからラックキャビネットのドアを閉じてください。キャビネットのドアを閉じる前に dongleを外さないと、dongleが破損する可能性があります。

PCIe ExpressModule X7284A-Z のホットプラグ機能が正常に動作しない (6687123)

PCIe ExpressModule X7284A-Z を搭載した Sun Blade X6450 サーバーモジュールでは、ホットプラグ機能が正常に動作しません。この ExpressModule のホットプラグを実行しないでください。

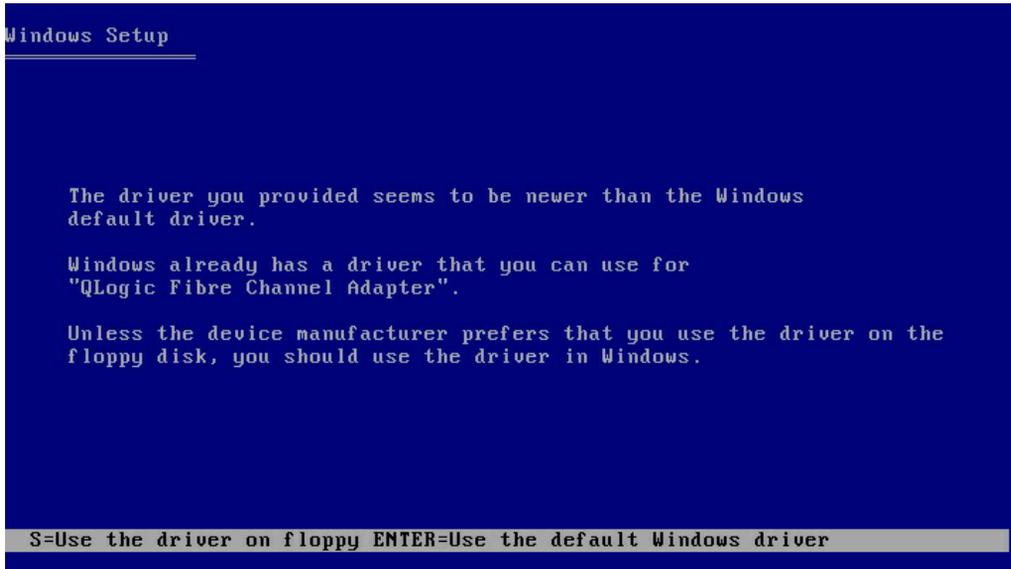
ソフトウェアの注意事項

この章では、Sun Blade X6450 サーバーモジュールに関連するソフトウェアの注意事項について説明します。

Windows OS をインストールするときは、必ず Tools and Drivers CD に格納されているドライバを 使用する必要がある

Windows OS と共に QLogic ファイバチャネルアダプタをインストールする場合は、Windows CD に格納されているドライバを使用しないでください。

「The driver you provided seems to be newer than the Windows default driver (指定したドライバは、Windows の既定のドライバよりも新しいようです)」というメッセージが表示されたら、S キーを押して、フロッピーディスク内のドライバを使用してください。



Tools and Drivers CD から Windows 用ドライバをインストールするときに、未署名のドライバの警告ダイアログボックスが表示される

Tools and Drivers CD から Windows 用ドライバをインストールしようとする時、未署名のドライバの警告ダイアログボックスが表示される可能性があります。

このダイアログボックスで「はい」を選択しても問題ありません。

対処方法

対処は不要です。

Solaris 10 08/07 で Oracle の浮動小数点プロセスが突然 SIGFPE 信号を生成して終了する可能性がある

これは、実際には浮動小数点エラーではありません。プロセスが突然終了することにより、データの破損が生じる可能性があります。

解決策

Solaris OS 用の 125370-06 と 127112-10 の 2 つのパッチを適用する必要があります。まず 125370-06 を適用し、次に 127112-10 を適用します。

Pc-Check テスト「User Pattern Test (ユーザーパターンテスト)」が終了しない

Pc-Check テスト「User Pattern Test (ユーザーパターンテスト)」が終了しません。

対処方法

機能上の影響はありません。この問題が発生した場合は、テストを終了してください。

64G バイト以上のメモリーを使用したブート時に RHEL 5.0 のパニックが発生する

「Panic on CPU0: Not enough RAM for domain 0 allocation (CPU0 でパニックが発生: ドメイン 0 に十分な RAM が割り当てられていません)」というメッセージが表示されます。このパニックは、特定の割り当てがカーネルの下位メモリーでメモリーを過度に占有している場合に発生します。

「Panic on CPU0: Not enough RAM for domain 0 allocation (CPU0 でパニックが発生: ドメイン 0 に十分な RAM が割り当てられていません)」メッセージ

解決策

この問題を解決するには、この問題のフィックスを含む Red Hat Security Advisory RHSA-2007:0099 (<https://rhn.redhat.com/errata/RHSA-2007-0099.html>) 以降を使用して OS をアップデートしてください。

対処方法

カーネルを正常にアップデートできない場合は、対処方法として、カーネルパラメータ `dom0_mem=512M mem=64G` を指定して、システムをブートしてください。たとえば、`/boot/grub/grub.conf` ファイルに、次のようにパラメータを入力します。

```
title Red Hat Enterprise Linux Server (2.6.18-8.el5xen)
    root (hd0,0)
    kernel /xen.gz-2.6.18-4.el5 dom0_mem=512M mem=64G
    module /vmlinuz-2.6.18-4.el5xen ro root=LABEL=/
    module /initrd-2.6.18-4.el5xen.img
```

ELOM およびサービスプロセッサの 注意事項

リモートコンソールでマウスのリダイレクトが最 適に動作しない場合がある

リモートコンソールでマウスの動作が不安定になる場合があります。

対処方法

▼ Solaris および Linux の場合

1. X-Window ユーザーインタフェースで端末セッションを開きます。
2. 次のコマンドを使ってハードウェアアクセラレーション機能を無効にします。

```
xset m 0
```
3. RKVM アプリケーションのマウス同期アイコンをクリックします。

▼ Windows の場合

1. 「コントロールパネル」の「マウス」を選択します。
2. 「ポインタオプション」タブを選択します。
3. 「ポインタの精度を高める」をオフにします。
4. RKVM アプリケーションのマウス同期アイコンをクリックします。

SLES10 SP1 で Ctrl + Alt + Delete キーが機能しない

RKVM を使用しているときは、SLES10 SP1 OS で Ctrl + Alt + Delete ホットキーが機能しません。

対処方法

ELOM Web GUI を使用してシステムをリセットするか、OS コマンドを使用してシステムをリブートしてください。

start /SYS コマンドを実行すると、CLI パスが変更される

/SYS で start コマンドを実行すると、CLI パスが /SP/AgentInfo に変更されません。これによる影響はありません。

対処方法

対処は不要です。

シャーシのファンの問題が警告として SEL に記録されない

シャーシのファンの問題は、BMC システムイベントログ (SEL) に警告として記録されません。

この問題はサーバーモジュールに影響しません。

対処方法

ELOM を使用してシャーシのステータスを確認します。詳細は、『*Sun Blade X6450 Server Module Embedded Lights Out Manager Administration Guide* (Sun Blade X6450 サーバーモジュール Embedded Lights Out Manager 管理ガイド)』を参照してください。

ELOM Web GUI からリモートコンソールにアクセスできない

リモートコンソール Java アプリケーションを ELOM Web GUI から起動できません。

対処方法

リモートコンソールアプリケーションには JRE 1.6 以降が必要です。

Web ブラウザを実行しているホスト上の Java のバージョンをアップデートしてから再試行してください。

サーバーモジュールの BMC IP アドレスを BIOS から設定する方法

BIOS から IP アドレスを設定するには、次の手順に従います。

1. Sun Blade 6450 サーバーモジュールをブートし、BIOS セットアップメニューに入ります。
2. 「Server (サーバー)」タブを選択し、Enter キーを押します。
3. 「Set AST2000 LAN Configuration (AST2000 LAN 構成の設定)」を選択し、Enter キーを押します。
4. 「IP Address (IP アドレス)」を選択し、Enter キーを押します。
5. 「IP Address Mode (IP アドレスモード)」として、「DHCP」または「Static (静的)」を選択します。
6. 「Static (静的)」を選択した場合は、「IP Address (IP アドレス)」フィールドに IP アドレスを入力します。
7. Escape キーを押して戻り、「Subnet Mask (サブネットマスク)」を選択します。
8. F10 キーを押して設定を保存し、リブートします。

注 – F9 キーを押して最適なデフォルトを BIOS に読み込んだ場合は、「IP Address Mode (アドレスモード)」はデフォルト (DHCP) に変更されません。モードを「Static (静的)」に変更した場合、BIOS セットアップメニューの「Server (サーバー)」タブを使用して手動で「DHCP」に変更できます。

CMM が Sun Blade X6450 の消費電力を正確に報告しない

シャーシとブレードは、十分な電力が提供されないとシャットダウンする可能性があります。

Sun Blade 6000 シャーシ

各 Sun Blade 6000 シャーシは、I/O モジュールと電源装置本体の冷却用ファンを備えた、ホットスワップ可能な 2 台の電源装置モジュールを搭載しています。各電源装置 (PSU) は、最大 5600 W の DC 電力をシャーシに供給できます。これらの 5600 W PSU は、電流共有モードで動作する同一の 2800 W 電源ブリックを 2 基内蔵しています。

各 Sun Blade 6000 シャーシの背面には、4 つの AC 入力ソケットがあります。これらの各 AC 入力ソケットから各 PSU 内の 1 基のブリックに電力が供給されることにより、2800 W の DC 電力を PSU から シャーシに供給できるようになります。設置サイトでの電源グリッドの冗長性は、2 本の AC 電源ケーブルを 1 つのグリッドに接続し、他の 2 本のケーブルをもう 1 つのグリッドに接続することで実現されます。電源グリッドの障害が発生したときは、給電されている 1 台の PSU から 5600 W の DC 電力を供給できます (両方の AC 入力ケーブルが接続され、通電されている必要があります)。

供給可能な 5600 W の総電力は、サーバーモジュール、ファン、I/O モジュール、シャーシ監視モジュール、および Sun Blade 6000 シャーシ内のその他の回路に分配されます。各サーバーモジュールの構成によっては、許容限度以上の電力を供給するようシャーシに圧力が加えられる可能性があります、このような場合は、PSU がシャットダウンします。

そのため、各サーバーモジュールの消費電力を手動で計算し、特定の Sun Blade 6000 シャーシに装着できるサーバーモジュールの最大数を確定して、PSU の過負荷を防止するよう配慮する必要があります。表 5-1 に、標準構成、各構成の消費電力、およびグリッドの冗長性を確保しながら装着できるサーバーモジュールの最大数の一覧を示します。

標準構成以外でのサーバーモジュールの最大消費電力を計算する方法の詳細は、「[任意構成での消費電力の計算](#)」(18 ページ) を参照してください。

表 5-1 Sun Blade 6000 モジュールシステムにおける Sun Blade X6450 の消費電力

ブレード構成	PTO	消費電力 (ワット)	サポートされる 最大ブレード数 (冗長) ¹	サポートされる最 大ブレード数 (非冗長) ¹
<ul style="list-style-type: none"> • 4 Xeon E7220 - デュアルコア /2.93 GHz/1066 MHz FSB、2 x 4M バイト L2 キャッシュ、80 W • 16G バイトメモリー - 8 x 2G バイト PC2-5300 DDR2 完全バッファ型 DIMM 	X6450- 42M2930-81	610	8	10
<ul style="list-style-type: none"> • 4 Xeon L7345 - クワッドコア /1.86 GHz/1066 MHz FSB、2 x 4M バイト L2 キャッシュ、50 W (LP) • 16G バイトメモリー - 8 x 2G バイト PC2-5300 DDR2 完全バッファ型 DIMM 	X6450- 44L1860-81	490	10	10
<ul style="list-style-type: none"> • 4 Xeon E7320 - クワッドコア /2.13 GHz/1066 MHz FSB、2 x 2M バイト L2 キャッシュ、80 W • 16G バイトメモリー - 8 x 2G バイト PC2-5300 DDR2 完全バッファ型 DIMM 	X6450- 44M2130-82	610	8	10

ブレード構成	PTO	消費電力 (ワット)	サポートされる 最大ブレード数 (冗長) ¹	サポートされる最 大ブレード数 (非冗長) ¹
<ul style="list-style-type: none"> 4 Xeon E7340 - クワッドコア /2.40 GHz/1066 MHz FSB、2 x 4M バイト L2 キャッシュ、80 W 32G バイトメモリー - 16 x 2G バイト PC2-5300 DDR2 完全バッファ型 DIMM 	X6450- 44M2400-82	715	7	10
最大可能構成:	なし	880	5	10
<ul style="list-style-type: none"> 4 Xeon E7340 - クワッドコア /2.40 GHz/1066 MHz FSB、2 x 4M バイト L2 キャッシュ、80 W 96 GB メモリー - 24 x 4G バイト PC2-5300 DDR2 完 全バッファ型 DIMM 1x SB REM 2x PCIe EM 				

1. CMM での冗長/非冗長設定については、Sun Blade 6000 モジュラーシステムシャーシのドキュメントを参照してください。

Sun Blade 6048 シャーシ

各 Sun Blade 6048 シャーシは、I/O モジュールと電源装置本体の冷却用ファンを備えた、ホットスワップ可能な 2 台の電源装置モジュールを搭載しています。各電源装置 (PSU) は、最大 8400 W の DC 電力をシャーシに供給できます。これらの 8400 W PSU は、電流共有モードで動作する同一の 2800 W 電源ブリックを 3 基内蔵しています。

各 Sun Blade 6048 シャーシの背面には、6 つの AC 入力ソケットがあります。これらの各 AC 入力ソケットから各 PSU 内の 1 基のブリックに電力が供給されることにより、2800 W の DC 電力を PSU から シャーシに供給できるようになります。設置サイトでの電源グリッドの冗長性は、3 本の AC 電源ケーブルを 1 つのグリッドに接続し、他の 3 本のケーブルをもう 1 つのグリッドに接続することで実現されます。電源グリッドの障害が発生したときは、給電されている 1 台の PSU から 8400 W の DC 電力を供給できます (3 本すべての AC 入力ケーブルが接続され、通電されている必要があります)。

供給可能な 8400 W の総電力は、サーバーモジュール、ファン、I/O モジュール、シャーシ監視モジュール、および Sun Blade 6048 シャーシ内のその他の回路に分配されます。各サーバーモジュールの構成によっては、許容限度以上の電力を供給しようとするシャーシに圧力が加えられる可能性があり、このような場合は、PSU がシャットダウンします。

そのため、各サーバーモジュールの消費電力を手動で計算し、特定の Sun Blade 6048 シャーシに装着できるサーバーモジュールの最大数を確定して、PSU の過負荷を防止することに配慮する必要があります。表 5-2 に、標準構成、各構成の消費電力、およびグリッドの冗長性を確保しながら装着できるサーバーモジュールの最大数の一覧を示します。

標準構成以外でのサーバーモジュールの最大消費電力を計算する方法の詳細は、「[任意構成での消費電力の計算](#)」(18 ページ)を参照してください。

表 5-2 Sun Blade 6048 モジュラーシステムにおける Sun Blade X6450 の消費電力

ブレード構成	PTO	消費電力 (ワット)	サポートされる 最大ブレード数 (冗長) ¹	サポートされる最 大ブレード数 (非冗長) ¹
<ul style="list-style-type: none"> 4 Xeon E7220 - デュアルコア /2.93 GHz/1066 MHz FSB、2 x 4M バイト L2 キャッシュ、80 W 16G バイトメモリー - 8 x 2G バイト PC2-5300 DDR2 完全バッファ型 DIMM 	X6450- 42M2930-81	610	12	12
<ul style="list-style-type: none"> 4 Xeon L7345 - クワッドコア /1.86 GHz/1066 MHz FSB、2 x 4M バイト L2 キャッシュ、50 W (LP) 16G バイトメモリー - 8 x 2G バイト PC2-5300 DDR2 完全バッファ型 DIMM 	X6450- 44L1860-81	490	12	12
<ul style="list-style-type: none"> 4 Xeon E7320 - クワッドコア /2.13 GHz/1066 MHz FSB、2 x 2M バイト L2 キャッシュ、80 W 16G バイトメモリー - 8 x 2G バイト PC2-5300 DDR2 完全バッファ型 DIMM 	X6450- 44M2130-82	610	12	12

ブレード構成	PTO	消費電力 (ワット)	サポートされる 最大ブレード数 (冗長) ¹	サポートされる最 大ブレード数 (非冗長) ¹
<ul style="list-style-type: none"> 4 Xeon E7340 - クワッドコア /2.40 GHz/1066 MHz FSB、2 x 4M バイト L2 キャッシュ、80 W 32G バイトメモリー - 16 x 2G バイト PC2-5300 DDR2 完全バッファ型 DIMM 	X6450- 44M2400-82	715	11	12
最大可能構成:	なし	880	9	12
<ul style="list-style-type: none"> 4 Xeon E7340 - クワッドコア /2.40 GHz/1066 MHz FSB、2 x 4M バイト L2 キャッシュ、80 W 96 GB メモリー - 24 x 4G バイト PC2-5300 DDR2 完 全バッファ型 DIMM 1x SB REM 2x PCIe EM 				

1. CMM での冗長/非冗長設定については、Sun Blade 6000 モジュラーシステムシャーシのドキュメントを参照してください。

対処方法

ブレードごとの消費電力を手動で計算することで、電力供給可能なブレードの数を算定してください。

表 5-1 は、Sun Blade 6000 モジュラーシステムでの Sun Blade X6450 PTO の 4 つの構成とそれぞれの消費電力を示しています。この表では、X6450 の消費電力と最大可能構成も示しています。

表 5-2 は、Sun Blade 6048 モジュラーシステムでの Sun Blade X6450 PTO の 4 つの構成とそれぞれの消費電力を示しています。この表では、X6450 の消費電力と最大可能構成も示しています。

任意構成での消費電力の計算

任意構成では、次に示すコンポーネントごとの消費電力情報に基づいて、ブレードごとの消費電力を計算します。これにより、同時給電可能なブレードの数を確定できます。

ベースブレード: 185 ワット

CPU: 50 ワット (L7345 CPU)、80 ワット (E7220、E7320、および E7340 CPU)

DIMM: 各 13 ワット

PEM: 各 25 ワット

REM: 各 15 ワット

注 – 6000 または 6048 のいずれのシャーシでも、電源装置の冗長性を犠牲にすることで、装着するブレードの数を増やすことができます。

ブレードの混在構成については、次の Power Calculator Web サイトを参照してください。

<http://www.sun.com/servers/blades/6000chassis/calc/index.jsp>

<http://www.sun.com/servers/blades/6048chassis/calc/index.jsp>

